



かわい



横浜市立川井小学校

本気になる...

副校長 柳田 康彦

川井小学校に赴任してきて、始業式で何より驚いたのは子どもたちが集中して静かになる早さでした。そして、1か月後の朝会で私は、子どもたちに「本気になることの大切さ」について話をさせてもらいました。どんな些細なきっかけだとしてもでも本気になってしまえば、こっちのものです。なぜなら「本気になるるとやる気が出てくる。やる気が出れば目標が具体的になる。目標が具体的になればさらにやる気が出て、継続することができる。だから、結果として自分の夢が実現したり、新しい自分と出会えたりする。」からです。

運動会では、それぞれの学年の子どもたちが、精いっぱいの本気の姿を見せてくれ、私たちを感動させてくれました。そうです。本気になるると、自分が確実に成長できるだけでなく、周りの人たちも含めて「感動」という素晴らしい気持ちを広めていくことにもなるのです。これからの10か月で子どもたちが、何に本気になり、どんな成長を見せ、私たちを感動に導いてくれるのか、本当に楽しみにしています。

運動会

がんばりました

子どもたちは、運動会に向けて、毎日練習に取り組んできました。

クラスでもCDをかけながら、ダンスの練習をしたり、高学年はなわとびタイムを設けて、諦めずに挑戦したりしてきました。

日に日に気持ちが高まり、運動会を楽しみにしながら、前向きに取り組む姿に成長を感じました。

交流級の友達からの励ましも力になったようです。

4・5組



初めての小学校運動会。前日には、「楽しみだなあ。」「勝ちたいなあ。」などの声が子どもたちから聞こえました。

当日の朝。自分の荷物を用意する、自分で椅子を運ぶ、こういったことも一年生にとってはとても重要な学習です。応援の時に声を出す、自分で水を飲む、自分でトイレに行きたいと言うなども一年生なりの自立の学習です。

演技や競技では、どの子も一生懸命でした。運動会終了後、教室に帰ると「ああ、楽しかった。」と、疲れているはずの一年生が笑顔で言っていました。充実した運動会だったようです。

1年生



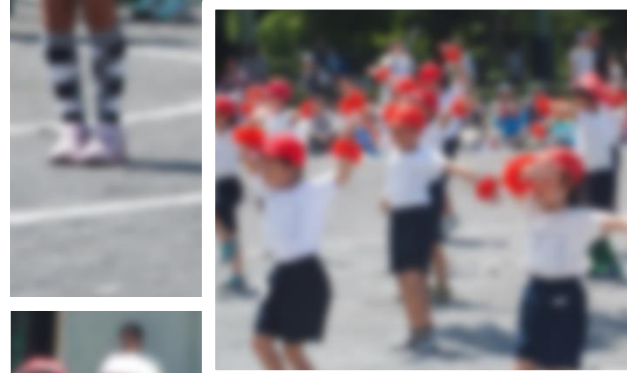
2年生



3年生

運動会の練習を通して、私は話をしっかり聞こうと頑張りました。先生の話や友達の話をしっかり聞くと、上手にできるんだなと思いました。運動会当日、たくさん練習した成果がだせて、友達と楽しくおどることができました。

ダンスの時、なかなかうまくフラフープを投げるできませんでした。中休みに練習したら、上手に投げられるようになりました。本番では、しゃべいせず投げる事ができてうれしかったです。



4年生

下の学年のお手本になろうと一生懸命頑張りました。笑顔で楽しみながら心に残る運動会を作り上げました。

私は、運動会の際にダンスを失敗して、終わったあと、なんでだろう？と考えました。思いついたことは、家でも練習すればいいのではないかと、ということです。家でも習い事の練習を自分からするようになりました。体験学習では自分の役割をやり遂げて、その時に何をすべきか考え、行動したいです。

私は、つな引きや演技で場所が分からなくなった人に「ここだよ」と声をかける力がつきました。みんなもつなとりのときに、近くの人に「このつなとってね」と互いに声かけができていいと思いました。選抜リレーでは、本番で赤チームに勝って優勝できてうれしかったし、印象に残りました。体験学習に向けて、テキパキと動いて、むだな時間をつくらないようにしたいです。そして困っている人がいたら声をかけて、困っている人がなるべくいないようにしたいです。

5年生

初めての係活動に緊張しながらも自分の役割を果たそうとがんばりました。

ぼくは、縄跳びの演技で「なるべくミスを少なくする」という目標を立てました。本番では、あまりミスをしなかったし、みんなでそろえるところがきちんとそろえられたのでよかったです。

会場・表示係は、みんなの見えないところで動く係だけど、この係がどれだけ大事なのか感じながら取り組み。当日も、しっかりと活動できました。

6年生

最高学年として、自分たちの演技も最高のものに、運動会全体も最高のものにしようとして、練習や係活動に必死に取り組みました。筋肉痛に耐えながら練習した演技も、当日はばっちり決まりました。

中休みなどでリレーの練習をしました。初めはなかなかバトンパスがうまくできませんでしたが、しかしみんなが本気で勝ちたいと思っているのがいつも伝わってきたので、私も全力を出し切って、みんなに教えてきました。小学校生活最後の運動会に向けて一緒に頑張ってきてよかったです。

